

令和元年（2019年）9月3日（火曜日）

三島駅南開発

「工事による影響なし」

市、地下水対策委に報告

JR三島駅南口の東・西両街区でにぎわいと交流拠点の整備を進めている三島市は2日、「第5回三島駅南

口周辺開発地下水対策検討委員会」（委員長 辻村真貴・筑波大教授）を市役所で開いた。地下水調査結果や西街区の事業の進行状況、東街区市街地再開発準備組合による地盤調査結果、東街区再開発事業の施設計画案に基づく地下水配慮対策などを確認した。

調査については「工事による地下水への影響と考えられる地下水質の変化は確認されなかった」と報告。委員からは「今年に入ってから著しい低下があり、市民は不安を持っているが、工事による影響ではなかったのか」との再確認や「工事完了後も市による地下水モニタリングは続けられるのか」などの質問が出た。

整備を進めていくことと体的代表ら8人で構成を目的に2016年に同委員会を設置。委員は湧水・地下水保全に関する専門家や市民団

業後の来年秋に開催を予定している。

市は三島駅の地下水